

Unit 2 学校で (4時間)

本単元における小学校英語活動を生かした指導

本単元の言語材料は、This (That) is~.と He (She) is ~.であり、その「説明する」という言語の働きをしっかりとらえさせたい。そのために、説明しているものが生徒にとって聞き慣れないものであると、導入段階では、英語で何と言う単語なのかに意識が集中してしまい、This(That)is ~.He(She) is~.を聞き逃したり、理解が不十分になってしまう恐れがある。導入の際には、小学校英語活動で学習した単語を、絵や図を使用して説明し、言語の働きを理解できるようにしたい。また、小学校英語活動の単語に加え、さらに言語材料を増やしたり、書く活動を組み合わせることで、生徒の学習意欲を高めていくことも大切である。また、ものを紹介する活動では小学校英語活動同様、実物あるいは視覚に訴えるものを使って表現できるようにし、生徒の関心・意欲を高めたい。また、本文は Unit 1 からの学習の続きであることを意識できるように、教科書のさし絵を利用し、吹き出し等のせりふを考える活動を取り入れていきたい。

1 目標

- ・ 校内を案内する場面で、いくつかのものについて何であるかを説明できる。
- ・ This (That) is ~.の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ 建物などについて「～ですか」と尋ねたり、それに答えたりすることができる。
- ・ I see.の用いられる場面を理解し、使うことができる。
- ・ Is that (this) ~?の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ 友達や先生について、簡単な紹介をすることができる。
- ・ Hi.の用いられる場面を理解し、使うことができる。
- ・ He (She) is ~.の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。

2 評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞くこと	(言語活動への取組) 紹介する活動に関心をもっている。 (コミュニケーションの継続) 理解できないところがあっても推測して聞いている。		(正確な聞き取り) 紹介された内容を正しく理解することができる。 (適切な聞き取り) 相手の問いかけに適切に応じることができる。	(言語についての知識) This (That) is~.とその疑問文、He(She)is~.の文の意味・構造を理解している。 (文化についての理解) Mike という英語圏での愛称を理解している。
話すこと	(言語活動への取組) ペアワーク等に積極的に参加している。 (コミュニケーションの継続) Oh, I see.などを使い話し続けている。	(正確な発話) This(That) is~.とその疑問文、He(She) is~.を正しく用いて話すことができる。 (適切な発話) Is this(that)~?の問いかけに、適切に表現を選択して応答することができる。		(言語についての知識) Canada, Australia などアクセントの日英の違いについて基礎的な知識を身に付けている。 (文化についての理解) 相手の名前を添えて紹介するなど、名前を大切に文化を理解している。
読むこと	(言語活動への取組) 本文の内容に関心をもっている。 (コミュニケーションの継続) 理解できないところがあっても推測して読み続ける。	(正確な音読) 文の強勢や短縮形の発音など正しく音読できる。 (適切な音読) 適切な音量で読むことができる。	(正確な読み取り) グリーン先生との学校での会話を正しく読み取ることができる。 (適切な読み取り) 学校での会話の大切な部分を読み取ることができる。	(言語についての知識) 疑問文は上がり調子で読むことを理解している。 (文化についての理解) Hi.やI see.など日常生活に根付いている言葉を理解している。
書く	(言語活動への取組) 間違うことを恐れず、紹介する文を書いている。	(正確な筆記) be 動詞を使って正しく紹介文を書くことができる。		(言語についての知識) This(That)is~. He(She)is~.の文の意味・構造を

く こ と	る。 (コミュニケーション の継続) 知っている表現を使 って書き続けている。	できる。 (適切な筆記) 紹介する文を相手に 伝わるように必要な分 量を書くことができる。	理解している。 (文化についての理解) 単数に対する英語と日 本語の違いを理解してい る。
-------------	---	---	---

3 指導と評価の計画

(網掛けは、小学校英語活動を生かした活動・指導)

時 間	ねらい()と 学習活動()	指導上の留意点及び支援の工夫 「おおむね満足」に達していない生徒 への手だて	単元 の 評 価 規 準 と の 関 連	具体の評価規準 A「十分満足」 B「おおむね満足」 (評価方法)
1	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>① This is the way.を歌う。 This(That)is ~.の形を理解し、Part1の内容を聞き取る。</p> <p>② 教師の説明を聞き、This is~.と That is~.の表現を理解する。</p> <p>③ This is~.の説明の仕方を理解し、ALTの学校紹介を聞く。</p> <p>④ ALTの学校と若葉中の学校を比べながらさし絵の場面を考え、質問に答える。</p> <p>⑤吹き出しの言葉を考えながら、Part1の内容を聞き取る。</p> <p>⑥ Part1の新出単語を練習する。</p> <p>⑦ T or F, Q and Aで内容を確認する。</p> <p>⑧本文の音読練習をする。</p> <p>This is~.を用いて、校内の説明ができる。</p> <p>⑨校内地図を作って学校の施設を紹介する。</p>	<p>新出言語材料に気付くことができるように、This is の音の結びつきに注意して歌うよう促す。</p> <p>生徒が興味をもって取り組めるように、かばんから自分の持ち物を取り出し、説明する。 生徒の持ち物を指し、That と your を導入することで理解を促す。</p> <p>校内の施設、教室などの説明の手助けとして、写真や絵見取り図を使うようにする。 理解しやすいように、校内(教室内)にあるものを This is a ~.で説明し、見取り図に記入するよう助言する。</p> <p>Unit1からの続きの場面であることを確認し、さし絵について質問するようにする。</p> <p>自由に考えることができるように、さし絵の吹き出しは消しておく。 自分の考えたせりふとの違いに気付けるよう表現を板書する。</p> <p>音と文字を結び付けるために、フォニックスを取り入れた音声指導を行う。</p> <p>逐語訳をするのではなく、自然な会話としてとらえられるようにする。</p> <p>This is~.の言語の働きを意識できるようにするために、ジェスチャーをつけ練習するよう助言する。 読めない単語を個々に指導する。</p> <p>英語での言い方が分からない教室等は How do you say() in English?で尋ねるよう助言する。 ALTへの単なる伝達にならないように、説明のあとALTから質問を受けそれに答えるよう伝える。 グループで教え合いながら取り組めるようにする。</p>	ア イ ウ	<p>教師の発音をモデルに読み、内容を読み取っている。 A 強勢やイントネーションを正しく読み、内容を正しく読み取っている。 B モデルに近付こうと読みに取り組み、内容を理解している。 (観察、ワークシート)</p> <p>説明する活動に取り組み、校内紹介ができる。 A 積極的に活動に取り組み施設を正しく説明することができる。 B 間違ふことを恐れずに活動に取り組み、施設を説明することができる。 (観察、発表)</p>

<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>10 This is the way.を歌う。 Is this(that)~?と応答の形を理解し、Part2 の内容を聞き取る。</p> <p>11 持ち物の単語を復習する。</p> <p>12 持ち主を尋ねる教師の質問に答え、Is this your~?の形を理解する。</p> <p>13 持ち物が相手のものか尋ね、持ち主に返す落とし主は君?ゲームをする。</p> <p>14 理解した表現を使い、吹き出しの会話を考える。</p> <p>15 Part2 の内容を聞き取る。</p> <p>16 Part2 の新出単語を練習する。</p> <p>17 T or F, Q and A で内容を確認する。</p> <p>18 本文の音読練習をする。</p> <p>Is this~?で建物について尋ねることができる。</p> <p>19 ALT の町 map を見て、ヒントを聞き、建物等の名前当てクイズをする。</p>	<p>英語の強勢に気付けるように、リズムに注意して歌うよう促す。</p> <p>言語材料の定着を図るために、小学校英語活動で用いられたものから復習し、教科書 P15,P123 の単語も導入するようにする。</p> <p>前時の復習をするために This is ~.で教師の持ち物を説明する。その後、Is this~?を導入し生徒に質問をする。</p> <p>興味をもって取り組めるように、あらかじめ生徒から文房具などを集めておいて使用する。</p> <p>必要な表現は個々に指導する。</p> <p>Is this(that)~?を使いせりふを考えるよう伝える。</p> <p>自分の考えたせりふとの違いに気付けるようにする。</p> <p>音と文字を結び付けるために、フォニックスを取り入れた音声指導を行う。</p> <p>逐語訳をするのではなく、内容を大きくとらえられるようにする。</p> <p>繰り返し練習ができるように、Read and Look up など様々な読み方を行うようにする。</p> <p>生徒が関心をもてるように、建物の名称を消した ALT の町の地図を使う。</p> <p>ALT が This is a~.でヒントを読み上げるようにする。</p> <p>グループで協力して取り組むよう伝える。</p>	<p>アイウエ</p> <p>アイウエ</p>	<p>Is this~?の疑問文を用いて相手に質問することができる。</p> <p>A Is this ~?を正しく用い、抑揚に気を付けながら適切な質問をしている。</p> <p>B Is this ~?を用いて質問している。 (観察)</p> <p>教師の発音をモデルに読み、内容を読み取っている。</p> <p>A 強勢やイントネーションを正しく読み、内容を正しく読み取っている。</p> <p>B モデルに近付こうと読みに取り組み、内容を理解している。 (観察、ワークシート)</p>
<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>20 This is the way.を歌う。</p> <p>Part3 の内容を聞き取り、He(She)~.の用法を理解する。</p> <p>21 本文のさし絵を見て、吹き出しに入るせりふを考える。</p> <p>22 小学校英語活動の表現を思い出し、せりふを発表する。</p>	<p>歌を歌うことで、曜日名の定着が図れるようにする。</p> <p>場面の状況を理解できるように、ペープサートを利用する。</p> <p>絵美のせりふを理解しやすくするために、グリーン先生に向けたものとマイクに向けたものとに分けて示す。</p> <p>日本語での紹介を参考にすることで、英語で人を紹介する方法を考えることができるようにする。</p> <p>小学校英語活動の家族や職業の学習で This is~.や He(She) is~.を使ったことを思い出し、活動に取り組めるようにする。</p>	<p>アイウエ</p>	<p>教師の発音をモデルに読み、内容を読み取っている。</p> <p>A 強勢やイントネーションなど正しく読み、内容を正しく読み取っている。</p> <p>B モデルに近付こうと読みに取り組み、内容をとらえている。 (観察、ワークシート)</p>

	<p>23 Part3 の内容を聞き取り、人の紹介の仕方を理解する。</p> <p>24 Part2 の新出単語を練習する。</p> <p>25 T or F, Q and A で内容を確認する。</p> <p>26 本文の音読練習をする。</p> <p>簡単な友達紹介ができる。</p> <p>27 ペアで本文の場面にペーパーサートで加わり、グリーン先生に友達を紹介する。</p>	<p>だれがだれに話しかけているのかを確認し、理解できるようにする。</p> <p>音と文字を結び付けるために、フォニックスを取り入れた音声指導を行う。</p> <p>逐語訳をするのではなく、内容を大きくとらえるよう促す。</p> <p>繰り返し練習ができるように、Read and Look up など様々な読み方を行うようにする。</p> <p>表現の定着を図るために、絵美(慎)になり、ペーパーサートで加わった友達の紹介をするよう伝える。</p> <p>絵美のせりふを参考にすることで対話を行えるようにする。</p>	<p>ア</p> <p>イ</p> <p>ウ</p> <p>エ</p>	<p>友達紹介をすることができる。</p> <p>A 適切な表現を使い友達紹介をすることができる。</p> <p>B This (He,She)~を使って紹介することができる。</p> <p>(観察、発表)</p>
<p>4</p>	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>28 This is the way.を歌う。</p> <p>前時までの復習をする。</p> <p>29 This is~.の説明を聞いて職業当てクイズをする。</p> <p>人の紹介や説明をすることができる。</p> <p>30 自分の家族等を紹介する文を書く。</p> <p>31 写真や絵を使いながら発表する。</p>	<p>歌詞を確認できるように、内容を頭の中に描いて歌うよう伝える。</p> <p>職業名は Unit1 で使用したカードも使い、言語材料の定着を図れるようにする。</p> <p>職業に必要なものを This is ~.で説明し、表現の定着を図れるようにする。</p> <p>説明が理解しやすいように、実物や絵を用意して説明する。</p> <p>答えは Is he (she) ~?で答えるよう促す。</p> <p>書く活動に取り組めるように、家族に限らず、自分が紹介したいと思う人について書くように伝える。</p> <p>例文プリントを活用し、書くことに取り組めるようにする。</p> <p>発表の手助けとなるように、写真や絵を使って、指し示しながら説明するよう助言する。</p>	<p>ア</p> <p>イ</p> <p>ウ</p> <p>エ</p>	<p>人を説明する表現を用いて紹介文を書いたり、説明したりできる。</p> <p>A 既習表現を使って正しい表現で書き、丁寧に説明している。</p> <p>B 既習表現を使って書き、相手に分かるように説明している。</p> <p>(紹介カード、発表)</p>

小学校英語活動を生かした指導に関わる 3 時間分
英語科学習指導案 (Unit 2) 第 1 時 1/4

本時における小学校英語活動を生かした指導

生徒は、小学校英語活動で持ち物に関する言葉にたくさん触れてきている。そこで、慣れ親しんだ言葉を使いながら、This is my ~.の表現を自分の持ち物を見せて説明し導入する。また、That is your ~.の表現も生徒の持ち物を使い導入する。所有者のはっきりした実物を使って説明することにより、生徒は言語の働きを日本語を介さず理解できる。示す言葉を身近な持ち物から、教室にあるもの、校内にあるものと広げていくことにより、This(That) is ~.でさまざまなことが説明できるということに気付くことができる。実物を提示するという小学校英語活動の手法を取り入れ、言語の働きの定着を図りたい。また、本文と自分たちの学校を比べながら、表現活動を行い、説明する物を自作することにより、活動への意欲を高めたい。

1 本時の目標

- ・ This (That) is ~.の形を理解し、表現できる。
- ・ Part 1 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、持ち物、学校の写真と見取り図、ワークシート、フラッシュカード、ピクチャーカード

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつをする。 This is the way.の歌を歌う。	This is の表現を思い出せるように音の結びつきに気を付けて歌うよう促す。	
10	This(That) is~.の形を理解し、Part1の内容を聞き取る。	This is my ~.の表現を理解する。 book, notebook, eraser, pen, pencil ruler, scissors, pencil case, stapler など That is your ~.の表現を理解する。 教室内、校舎内にあるものの説明を聞いたり、言ったりする。 何の部屋か推測し見取り図に記入し、ALT の学校紹介を聞く。 gym, library, teacher's room, music room, science room restroom, nurse's room, computer room など	興味をもてるように、かばんから持ち物等を取り出し説明を行うようにする。 言語の働きが理解しやすいように、説明するものは小学校英語活動で親しんでいる言葉から始める。 This (That) is a ~.の表現ができるように生徒の持ち物を使い説明する。 説明は実物や絵、写真を示しながら行い理解を助けるようにする。 ALT の学校の見取り図に説明しながら貼り、内容を確認できるようにする。 教室名は小学校英語活動で触れているものをカードで示し、ALT の説明後、英語での言い方を復習し定着を図れるようにする。	
15		ALT の学校とさし絵の若葉中を比べ、場面を考え質問に答える。 吹き出しのせりふを考えながら、Part1 の内容を聞き取る。 Part1 の新出単語を練習する。 this, that の th (有声音) と (無声音) の読みの練習をする。 father, mother, brother, with mouth, math, bath, Thursday 本文についての質問に答える。 本文の音読練習をする。	Unit1 からの続きの内容であることを確認するため、復習の質問をする。 自由に考えることができるように、吹き出しのせりふは消して示すようにする。 自分とのせりふの違いをとらえられるように表現を板書する。 意味とつづり、読み方が定着できるようにフラッシュカードを用いる。 father, mother (有声音) math, bath (無声音) を使い、発音の違いをとらえられるようにする。書き取りには小学校英語活動で触れた語を使う。 T or F, Q and A で内容を確認できるようにする。 逐語訳をするのではなく、自然な会話としてとらえられるようにする。 文の強勢に気を付けることができるように、ジェスチャーをつけて練習するよう助言する。	本文を理解し、英語らしい発音で読んでいる。
20	This is~.を用いて校内の説明ができる。	校内地図を作成し、学校の施設等をグループで発表しあう。	英語での言い方が分からないときは How do you say ~ in English?で質問するよう助言する。 自信をもって発表できるように説明するものを絵で描いたり、貼ったりする。	校内紹介ができる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

Is this ~?の表現は小学校英語活動において生徒はあまり触れていない。そのため生徒から表現を引き出すことは難しいと考える。そこで、教師が前時の This is ~.の復習をしながら、落とし物の文房具を使用し、Is this your ~?の表現を使い、たくさんの生徒に質問することで表現を導入する。Is this ~?を使って、クイズに答えたり、あきらかに分かっていることを尋ねるといった活動は、小学校英語活動で身近なもの、日常的なものを題材に活動してきた生徒には、不自然さを感じてしまうことになりかねない。そのため、本時では、自分たちの持ち物という具体物を使い、落とし主を捜すという目的のために Is this ~?を使い、言語の使用場面を理解できるようにしたい。

1 本時の目標

- ・ Is this ~?の形を理解し、表現できる。
- ・ Part 2の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、生徒の持ち物、ALTの町(市)の地図、ワークシート、フラッシュカード、ピクチャーカード

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 This is the way.の歌を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、定着を図れるようにする。 英語の強勢に気付けるよう、強弱のリズムに注意して歌うようにする。	
15	Is this (that) ~?と応答の形を理解し、Part2の内容を聞き取る。	持ち物に関する単語を復習する。 Is this ~?を使った教師の質問に答える。 友達の持ち物を受け取り、持ち主をさがす。	前時に使用した単語を文字で復習したり教科書 P15,P123の単語を導入したりして、文字を意識できるようにする。 復習するために This is ~.で教師の持ち物を説明し、その後 Is this your pencil?の言語の働きを推測できるように落とし物を出して質問する。 Is this your ~?を理解できるように生徒から集めておいた持ち物を使うようにする。 全員に一つずつ文房具などを渡し興味をもって活動できるようにする。 持ち主が分かっても必ず英語で質問し、相手から Yes, it is.の答えがもらえたら、返すよう伝える。 ALTや教師の持ち物も入れることで教師とも会話できるようにする。	相手の持ち物が確認することができる。
15		理解した表現を使い、本文の吹き出しの会話を考え、発表する。 Part2の内容を聞き取る。 Part2の新出単語を練習し、sの読み取りと書き取りの練習をする。 <i>study, sister, chopstick, zebra, zoo, zero</i> T or F, Q and Aで内容を確認する。 本文の音読練習をする。	Is this (that) ~?を用いて考えるという条件を与える。それ以外は場面を考え、小学校英語活動を思い出して表現できるようにする。 自分たちのせりふとの違いに気付けるように表現を板書する。 school, hospital, seeのsとzの発音指導と書き取り練習を小学校英語活動で使用した単語を使い指導し、音と文字を結び付ける。 逐語訳をするのではなく、自然な会話としてとらえられるようにする。 暗唱できるように Read and Look up などさまざまな方法で練習するようにする。	本文を理解し、短縮形や抑揚に気を付けて読んでいる。
15	Is this ~?で建物について尋ねることができる。	ALTの町 mapを見てヒントを聞き、建物等を当てる。 T: This is a building. This is a mailbox. This is a stamp. S: Is this a post office? T: Yes, it is.	ALTの町の地図を使い、名称は消して提示することで活動への意欲をもてるようにする。 興味をもって取り組めるようにヒントを絵で示し、それを This is a ~.で説明し、クイズ形式で答えるようにする。 表現の幅を広げるために小学校英語活動で触れた建物に関する単語を復習する。 <i>amusement park, farm, station, restaurant, post office, hospital, dental clinic, library, city hall, temple, shrine, police station, church, convenience store など</i>	説明を理解し、建物の名前を尋ねることができる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時は人を紹介するという場面での会話である。さし絵だけでは、絵美がだれに向かって話しているのかわかりやすく、場面を理解しづらいと考えられるので、ペープサートで人物を動かすことで、絵美が始めはグリーン先生に話しかけ、次はマイクに話しかけているという場面を生徒が理解できるようにしたい。小学校英語活動で家族紹介を行っているので、This is~.の表現を思い出す生徒は多いと思われるが、名前を紹介した後、He や She を用いてさらに紹介できるように、友達の発表を聞くことで自分の表現を広げたり、さし絵に He(She) is ~.で表現できるような絵を新たに加えたりする。最後の表現活動でも、友達をグリーン先生に紹介するという場面を設定し、ペープサートで登場人物になりきり行うことにより、生徒は実際の場面を想定しながら活動ができるようになる。

1 本時の目標

- ・ He(She) ~.の形を理解し、表現できる。
- ・ Part 3の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ペープサート、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 This is the way.の歌を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、表現の定着を図れるようにする。 歌を歌うことで、曜日名の定着を図れるようにする。	
15	Part3の内容を聞き取り、He(She) is~.の用法を理解する。	本文のさし絵を見て、吹き出しに入るせりふを考える。 小学校英語活動の表現を思い出し、せりふを発表する。 <i>This is my sister. She is kind. This is my brother. He is a baseball player. など</i>	Unit1から場面を追って復習するために、ペープサートや背景の絵を利用する。 絵美はグリーン先生とマイクに話しかけていることに気付けるように吹き出しを工夫し、紹介の場面であることを確認できるようにする。 英語での紹介を行うヒントとして、日本語ではどんな紹介をするかを考えるよう伝える。 小学校英語活動で家族紹介をしたことを思い出し、This is~.や He(She) is~.の表現に気付けるようにする。	
15	Part3の内容を聞き取り、人の紹介の仕方を理解する。 Part3の新出単語を練習し、shの読み取りと書き取りの練習をする。	Part3の内容を聞き取り、人の紹介の仕方を理解する。 Part3の新出単語を練習し、shの読み取りと書き取りの練習をする。 <i>fish, shrine, shark, sheep, shoulder</i> 本文についての質問に答える。 本文の音読練習をする。	He(She)~.の違いを確認できるようにするため、有名人などの写真を使うようにする。 フラッシュカードを用いることで、意味とつづり、読み方の定着を図れるようにする。 she, Englishのshの発音指導と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使い指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 T or F, Q and Aで内容を確認できるようにする。 暗唱できるように Read and Look up などさまざまな方法で練習を行うようにする。	紹介の内容を理解し、名前を添えて紹介する方法が分かる。
15	友達の簡単な紹介ができる。	絵美(慎)になり、グリーン先生にペアの友達を紹介する。	自由に想像して紹介内容を考えることができるように、ペープサートを使い、さし絵の登場人物になり、発表するよう伝える。 教師はグリーン先生役になり、ペアに応じた質問をし、会話を続けることができるようにする。	友達の紹介をすることができる。